

2019 年 11 月 14 日

○ 11月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

- まずはじめに、原子力防災訓練についてです。

今月1日に、原子力規制庁の評価対象となる訓練を行いました。今年度は昨年度から要員を交代し、様々な訓練を重ねたうえで、本番に臨んでおります。訓練当日のシナリオでは、複数号機同時被災時における運転号機の格納容器ベント対応に加え、停止号機での使用済燃料プールの水位低下事象も発生させ、情報が錯綜する中でも本社との情報共有を確実に実施できるよう訓練いたしました。昨年度にいただいた全項目A判定評価や今回の訓練における対応レベルに満足することなく、今後も改善点を洗い出し、より高いレベルでの対応力向上に努めてまいります。

また、今月8日、9日には、新潟県による防災訓練が行われました。初日には、県や自治体等に対し、当発電所から通報連絡を行い、当社社員を派遣して発電所状況を説明いたしました。2日目には、PAZ圏内の社会福祉施設に当社社員と当社福祉車両を派遣して避難の支援を行うとともに、UPZ圏内の住民と避難車両のスクリーニングや簡易除染の支援を行うなど、多岐にわたる訓練に参加させていただきました。

今後も県や自治体等の関係機関との連携強化に努めるとともに、有事における対応能力向上を図り、地域の皆さまにご安心いただけるよう取り組んでまいります。

- 次に、先月 18 日に当発電所構内の補助ボイラー建屋で発生した火災についてです。本件につきまして、地域の皆さまにご心配をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

この火災は、電源盤の点検作業をしていた補助ボイラー建屋において、点検終了後の電源復旧作業を行った際に発生しましたが、現場の協力企業作業員による消火活動で速やかに鎮火に至っています。また、当日の作業においては手順通りに実施されており、問題はなかったことを確認しています。その後、焼損した部品を含む電源切替器をメーカ工場へ持ち出し、機械部品と電気部品の目視点検や機能・性能確認、および付着物や潤滑剤の成分分析を行っているところです。引き続き、詳細な原因調査を行ってまいります。

- 最後に、柏崎市内、刈羽村内における当社社員による全戸訪問についてです。

8月28日より活動を開始し、今月6日時点の集計では、訪問件数は約3万3千件となりました。このうち空き屋などを除いた、およそ半数の方々にお会いすることができ、発電所への様々なご意見やお気持ちを伺うことができました。今月20日までに一巡の訪問を終える予定としていますが、一人でも多くの方のご意見をお聞きしたいと考えており、訪問期間を12月上旬まで延長し、ご不在だったお宅をできる限り訪問してまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上